



2018年5月15日

株式会社 aceRNA Technologies への設立投資の実行について ~Entrepreneur Candidate Club (ECC-iCAP)から第1号の起業案件が誕生~

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：室田浩司）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）は、京都大学の研究成果を活用するベンチャー企業である株式会社 aceRNA Technologies（アセルナ テクノロジーズ、以下「aceRNA」）（本社：京都市左京区、代表取締役：進照夫）に対する投資を実行いたしました。

○aceRNA への投資実行について

aceRNA は、京都大学 iPS 細胞研究所の齊藤博英副所長が開発した人工 RNA 分子によるプラットフォーム技術（以下「RNA スイッチ」）により、再生細胞医薬品の精製や創薬事業を行う企業です。

iPS 細胞や ES 細胞などの多能性幹細胞は、分化工程を経て再生細胞医薬品として用いられます。分化工程で未分化の幹細胞が残存すると癌化の危険性があるため、iPS 細胞や ES 細胞の実用化には、未分化幹細胞の除去技術が必須とされています。また、分化細胞を安全かつ均一に精製することも必要です。RNA スイッチは未分化細胞を選択的に殺傷もしくはラベリングすることが可能で、分化細胞の大量生産にも応用できることから、再生細胞医薬品の安全性や品質を向上させる重要な技術として、医療への貢献が期待されています。

aceRNA は、京都 iCAP が設立・運営している起業家のための組織である「Entrepreneur Candidate Club」(ECC-iCAP) の会員から経営チームが誕生した初めての事例です。RNA スイッチの実用化に興味を持つ ECC-iCAP の複数の会員と齊藤教授ら研究者が事業化の議論を重ね、共同での創業に至りました。

なお、aceRNA の創業に際しては、京都市及び公益財団法人京都高度技術研究所の「KYOTO 発起業家育成プログラム」のサポートを受けており、産官と京都大学の研究成果を活用した今後の起業モデルの 1 つとしても注目されます。

京都 iCAP は、今後のマイルストンの達成を前提条件として第三者割当増資および社債を引き受ける総額 8,050 万円の投資契約を aceRNA と締結。今回、創業者らとともに総額 500 万円の設立投資に参加し、50 万円の投資を実行しました。また、投資と同時に社外取締役 1 名を派遣し、経営全般への支援も行います。

株式会社 aceRNA Technologies 会社概要

設立	2018年4月
事業内容	RNA スイッチ技術による細胞精製製品の開発と創薬
本社所在地	京都市左京区



代表取締役 進 照夫

○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学に属する研究者による知（研究成果・技術等を含む）を事業化することを目的とする企業（共同研究企業からのカーブアウトを含む）へ、投資その他の支援を行うことを目的に、2014 年 12 月に国立大学法人京都大学の 100%出資子会社として設立されました。当社は、2016 年 1 月に京都大学及び民間金融機関からの出資を受け、当社を無限責任組合員とする 160 億円の KYOTO-iCAP1 号ファンドを組成いたしました。

当社では、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果を基に、その実用化を志向する大学発ベンチャーに対して、期間 15 年のファンド運用期間を活かして、シード・アーリーステージの段階から長期に亘る支援・出資を行ってまいります。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
京都大学国際科学イノベーション棟東館 4 階
投資部 プリンシパル 兼 広報統括責任者 河野修己
TEL : 075-753-5303 FAX : 075-753-7592
E-mail : info@kyoto-unicap.co.jp